

妊娠・ 遺伝等	Q1	私は妊娠中・授乳中・妊娠を計画中ですが、ワクチンを接種することができますか。
	A	妊娠中、授乳中、妊娠を計画中の方も、ワクチンを接種することができます。mRNA(メッセンジャーRNA)ワクチンが妊娠、胎児、母乳、生殖器に悪影響を及ぼすという報告はありません。
	Q2	ワクチンを接種することで不妊になるというのは本当ですか。
	A	ワクチンが原因で不妊になるという科学的な根拠はありません。ワクチン接種により流産率は上がっており、妊娠しにくくなるという根拠も確認されていません。
	Q3	妊娠中にワクチンを接種した場合、生まれてくる新生児に免疫はつきますか。
	A	妊娠中(特に妊娠後期)にワクチンを接種することで、新生児にも抗体が移行する可能性があるという報告されています。
副反応等	Q4	mRNA(メッセンジャーRNA)ワクチンはワクチンとして遺伝情報を人体に投与するという点で、将来の身体への異変や将来持つ予定の子どもへの影響を懸念しています。
	A	mRNA(メッセンジャーRNA)ワクチンで注射するmRNAは短期間で分解されていきます。人の遺伝情報(DNA)に組み込まれるものではありません。
	Q5	新型コロナワクチンの接種が原因でたくさんの方が亡くなっているというのは本当ですか。
	A	日本において、新型コロナワクチンの接種が原因で亡くなった方がいるという事実は確認されていません。
	Q6	ワクチン接種後に血栓症が起きると聞いたのですが大丈夫でしょうか。
	A	ファイザー社や武田/モデルナ社のmRNA(メッセンジャーRNA)ワクチンでは、現時点では、同様の血栓症と関連性があると評価された事例は確認されていません。
接種後の 生活等	Q7	ワクチンを接種すると心筋炎や心膜炎になる人がいるというのは本当ですか。
	A	mRNA(メッセンジャーRNA)ワクチン接種後、頻度としてはごく稀ですが、心筋炎あるいは心膜炎になったという報告がなされています。軽症の場合が多く、心筋炎や心膜炎のリスクがあるとしても、ワクチン接種のメリットの方がはるかに大きいと考えられています。
	Q8	これまでに認められている副反応にはどのようなものがありますか。
	A	注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み等がみられることがあります。まれな頻度でアナフィラキシー(急性のアレルギー反応)が発生します。
接種後の 生活等	Q9	ワクチン接種で新型コロナウイルスに感染することはありますか。
	A	ワクチンを接種したことが原因で新型コロナウイルスに感染することはありません。
	Q10	ワクチンを接種した後も、マスクは必要ですか。
	A	ワクチンを接種した方から他人への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。引き続き、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いいたします。
接種後の 生活等	Q11	接種後に発熱した状態で人と会った場合、周りの人を感染させてしまうことはありますか。
	A	ワクチンの接種による発熱は免疫反応で起きるものであり、ワクチンが原因で周りの人に感染させることはありません。ただし、たまたま同じ時期に新型コロナウイルスに感染していた場合は、周りの人に感染させる可能性はあります。
	Q12	ワクチンの接種前後に飲酒をしても問題ないでしょうか。
A	少量の飲酒は大きな問題になることは考えにくいですが、過度の飲酒は避けた方が良いでしょう。	

SNS	Q13	SNSやニュースでコロナワクチンが危険と取り上げられていて不安です。どの情報を信じたらいいのでしょうか。
	A	SNSやメディアでは、新型コロナワクチンに関して様々な情報が溢れています。特に、SNSでは発信者が不明、または科学的根拠や信頼のおける情報源に基づいていない、不正確な情報があり、注意が必要です。 例えば、ワクチンを受けた後に起きた好ましくない出来事(有害事象)を、因果関係が分からないにも関わらず、あたかもワクチンが原因であるような書き方をしている情報もあります。ワクチンの安全性については、大規模な臨床試験だけでなく、承認後の安全性の監視システムによって常に調べられており、調査や評価の結果は国内外の公的機関から発表されています。 ワクチンの情報に関しては、複数の専門家のチェックを受けた、科学的根拠に基づいた情報発信をしている公的機関や団体などから情報を得ることをおすすめします。
	Q14	「遺伝子を書き換えられる」という情報がネットに掲載されていますが、本当ですか。
	A	mRNA(メッセンジャーRNA)ワクチンで注射するmRNAは短期間で分解されていきます。人の遺伝情報(DNA)に組みこまれるものではありません。
	Q15	「治験が終わっていないから危険だ」という情報がネットに掲載されていますが、本当ですか。
A	新型コロナワクチンは、臨床試験(第Ⅲ相試験)で、有効性と安全性に関して厳格な評価が行われた後に承認されています。その上で、効果の持続性等を確認するために、臨床試験が継続されています。	
効果	Q16	ワクチンは、若者でも重症化するとされている変異株にも効果がありますか。
	A	ファイザー社製ワクチン、モデルナ社製ワクチンはいずれも、感染力が強く重症化しやすいと言われるデルタ株等にも重症化予防効果があるとされています。